



ジャズライブ (Sax&PI)

佐藤公淳 × ケヴィン・マキュー (Pf)

前日から朝のうちに掛けて雨をもたらしたねずみ色の雲が去り、明るい秋雲が青空に模様を描き、会場に隣接した放牧場では牛、羊がのんびり草をはむ土曜日。デュオProject Weaversとして活動を始めて十五年になる佐藤公淳さんとケヴィン・マキューさんを迎えて一年ぶりのジャズライブを開催いたしました。ライブハウスとは一味違う雰囲気と空間の広がりのあるロゴス教会で楽しむスタイルはジャズ



コンサートというほうがピタリと当てはまるかもしれません。

A列車で行こう

「ニューヨーク版中央線」との解説がつかまりました。佐藤公淳さんが昨年9月まで十二年間住み日々利用していたニューヨークの地下鉄を佐藤さん独自の音とテンポで描きました。規則正しいリズムでは味わえない地下鉄物語を聴くことができました。ケヴィン・マキューさんのピアノは微妙なリズムを正確に捉えてデュオの醍醐味を阿吽の呼吸で楽しませてくれました。



夢空間La Musica (ゆめうたらんラ・ムシカ)とは
 夢空間La Musicaは身近なところで生の音楽を聴く機会をたくさん作りた。サロコンサートの雰囲気味わえる空間を提供したい。聴くだけに留まらず、これから羽ばたこうとしている若い音楽家や経験豊かな円熟した音楽家との交流も楽しめるコンサートを実現したい。これらの思いを形にしたのが夢空間La Musicaです。
 音楽を通して、人と人が響かぬ空間を提供し続けたいと考えております。

セブテンバーソング

ピアノは秋の柔らかな輝きをみせる光、サキソフオンが大人の切ない愛の感傷を表現。人生の九月(秋)、人生経験を重ねてきた大人だからこそ感慨をこめて振り返り、これからの時は瞬間、瞬間が貴重な時間であることに思いをはせる。耳なじみのある曲ですが、歌われている内容を正確に知るとその年代真っ只中にある者は哀愁を含んだこのメロデーにより心惹かれるのではないかと思います。



アイ・オンリー・ハブ・アイズ・フォー・ユー

この曲は一九五九年の作品。もともとは一九三四年映画泥酔夢 (Dames) で歌われた曲。(資料・軸なきブログ) 今回はオールディーズが並んだプログラム。その中の一曲です。歌詞をみると、

『空には星が出ているのか知らない。曇っているのか晴れているのか知らない。だって君しか見ていないから』

といった内容が綿々と歌われます。「あなたしか見えない」と熱い恋心を歌っています。

これほどまでに焦がれる思いの歌詞がついているとは思わない軽やかなテンポが小気味よい曲でした。

どの曲の演奏もそうですが、佐藤公淳さんのサキソフオンは最後の音になるかならないかの“音”までも表現し、ケヴィン・マキューさんのピアノが合わせて音になるかならないかの余韻を響かせます。この曲に関して言えば言葉になりきれない青年の激しい恋心がそんな演奏から伝わってきました。

イエスタデーズ
一九三三年にブロードウェイミュージカル「ロバート」のために作られた歌で初演され二年后、一九三五年に映画化(同名映画)され、ここでも使われた曲です。

(資料・浦賀屋宝庫守ファイル)

若い時、喜びに満ちた、自由に燃えるような人生を過ごし、最期の時を迎えようとしている老婦人へ愛情込めて歌われています。

セプテンバー・ソングはこれからの人生を思いますが、ここでは人生を振り返るのみです。しかし、フルートとピアノが自在に歌う様はこの老婦人が過ごした豊かな人生を光もって描いていました。



アンケートに「フルートとピアノのコンビネーションが映画のワンシーンに似ている」と記されておりました。この映画をご存知の方がいらっしやったことに感嘆を禁じえませんでした。

交流タイム

夢空間La Musicaでは音楽を楽しむことのほかにもう一つの楽しみを用意しています。それは音楽家の様々な話を聞く、お客様の素朴な質問や思ったことなどを音楽家に話し、お互いに交流を深める時間です。

今回は会場から出た質問、サクソフォーン上達法について佐藤公淳さんが飾らない言葉で丁寧に話をされました。また、デュオのタイミング合わせ術、デュオだから可能なやり取りについて、演奏前の



食事内容などの話が披露されました。話の内容もさることながら、お二人の人柄に触れる時間でもありました。

アンケート 抜粋

アンケートは夢空間La Musicaだけではなく、出演した音楽家たちにとっても励みとなり、また今後の活動をしていく上での参考となります。

今回もたくさん書いていただきました。演奏曲目ごとに感想を書いていただいたものもありました。



生の演奏を聴くチャンスがなかなかないので有意義でした

独り占めしているみたいでした

ジャズのピアノとテナーのデュエット初体験です

今日一日得した気分になりました

意外と深い素敵なサクソスの音色と軽快なピアノ。秋の午後にあふさわしい会でした

最後まで音(息づかい)を大事に吹いているのが伝わりました

マキユーさん、靴を脱いでの演奏がカッコ良かったです

『A列車で行こう』のエピソード、地下鉄の運行に合わせたテンの変化のアレンジにユーモアを感じました

お二人との対話も面白かった



今後の予定

十月二十八日(土) ログス教会

音楽×語り
が織りなす 新しい 日本昔話

十一月十一日(土) ヴィ・マエストロ

桂右團治定期落語会第七回

十二月一六日(土) ログス教会

テノール4×ピアノ
アルフォーコゴログス IV

二〇一八年

一月一四日(日) 野鴨の家
ランチタイムジャズライブ

各回の詳細につきましてはHP等で
順次ご案内いたします。

発行者

夢空間La Musica

岡部眞弓

電話: 060-691-6288

E-MAIL: info@yumekukan.net

ホームページ:

http://www.yumekukan.net/

